

第11回 死因究明・個人識別システム研究会

テーマ

「子どもの死亡事故を防ぐためのアプローチ：事故原因究明のための制度について考える」

日時：2023年2月23日 13:00～17:00

司会・進行：甲南大学 松原 英世

13時00分～13時05分

開会の辞

会長 岩瀬 博太郎

13時05分～13時30分

総会

13時30分～13時40分

趣旨説明

甲南大学 松原 英世

13時40分～14時05分（基調講演20分 質疑応答5分）

「子どもの死亡事故検証制度の現状と課題：事後対応から予防のための検証へ」

福岡大学 小佐井 良太

14時05分～14時30分（基調講演20分 質疑応答5分）

「事故検証委員会の検証：事例から考える再発防止に有用な原因群」

東京工業大学 西田 佳史

14時30分～14時55分（基調講演20分 質疑応答5分）

「CDRモデル事業と個別検証の位置付け～事件・事故から学ぶには」

弁護士、社会福祉士、保育士 寺町 東子

14時55分～15時20分（基調講演20分 質疑応答5分）

「CDRと保育・学校事故検証制度の目的(遺族の立場から)：再発防止から未然防止(予防)に繋げる制度への期待」

吉川慎之介記念基金代表理事 吉川 優子

15時20分～15時45分（基調講演20分 質疑応答5分）

「CDRの法制化に向けて：CDRモデル事業の現状と課題」

長崎大学 河村 有教

休憩：15 時 45 分～16 時 05 分

16 時 05 分～16 時 35 分

総合討論

16 時 35 分～16 時 40 分

閉会の辞

顧問 石原 憲治